

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-55℃～85℃(注1)			保存温度範囲		-10℃～60℃(注2)			
	電圧		AC 50 V			使用湿度範囲		相対湿度 95%以下			
	電流		0.3 A					(ただし、結露しないこと。)			
性能											
	項目		試験方法			規格		QT	AT		
構造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。		○	○		
	表示		目視にて確認する。					○	○		
電気的	接触抵抗		100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。			60 mΩ以下		○	○		
	絶縁抵抗		DC 100 Vで測定する。			100 MΩ以上		○	—		
性能	耐電圧		AC 150 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○		
	総合挿抜力		適合コネクタで測定する。			差込力 84 N 以下 引抜力 9.1 N 以上		○	—		
機械的	繰返し動作		50 回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性		周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 方向各 10 サイクル試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐衝撃性		加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3方向各 3 回試験する。					○	—		
環境的	定常状態の耐湿性		温度 40℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。			① 接触抵抗: 70 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	温度サイクル		温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→2～3→30→2～3 分 を 5 サイクル試験する。					○	—		
	耐熱性		温度 85℃中に 96 時間放置する。			① 接触抵抗: 70 mΩ以下		○	—		
	耐寒性		温度 -55℃中に 96 時間放置する。			② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	塩水噴霧		濃度 5% の塩水、48 時間放置する。			① 接触抵抗: 70 mΩ以下		○	—		
	二酸化硫黄		濃度 10 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 0090)			② はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	はんだ耐熱性		リフローの場合: ピーク温度 MAX 250℃ 220℃以上 60秒以内 はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内			外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと		○	—		
	はんだ付け性		はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。			はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだで濡れていること。		○	—		
備考											
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。						製図	担当	検図	承認	出図	
											
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 FX10A-140S/14-SV(91)					
IBCL CL			図番 SLC4-151979-21			製品コード CL570-0204-2-91			1/1		